

### 本報告書について

冬季の休みがおわり、多くの学生たちが街に戻ってきました。再び、慌ただしい学期の始まりを感じさせます。本報告書では、1月前半の冬の生活や街の様子、また、春学期の開始にあたって、どのような講義を受けているのか、その授業で気づいたことについて記述します。



図1 雪の積もったの工学部図書館



図2 学期初めの Japanese Conversation Table

### 冬の生活や街の様子について

冬の休み期間では、多くの学生が旅行や帰省をしており、夏学期よりもさらに人が少なくなっています。クリスマスから引き続き新年にかけての休み期間でもあり、多くの店が閉まっていたのには驚かされました。バーガーショップ等の大型チェーン店すら、二週間の長期休みとなっていました。

気候の変化が著しく、1月の前半は常にマイナスが続いていました。一時-16℃まで落ち込むこともありましたが、友人の話では今年はまだ暖かいそうです。雪も降りましたが、山がほとんどない平地のため、金沢のように積もるといってもありませんでした。

春学期開始の一週間前になると、多くの学生が学内に戻りはじめ、本屋やスーパーなどが戻ってきた学生のためにセールを行ったり、Welcome Back というような垂れ幕が設置されていたりと、この大学の地域に対する影響の大きさを強く感じました。



図3 新学期を祝うパーティの様子



図4 Educational Game Design の授業の様子

### 受講している講義について

今学期は4つの授業を受講しています。CS418 Interactive Computer Graphics, CI437 Educational Game Design, CHIN202 Elementary Chinese 2, EALC250 Japanese Culture です。英語の勉強のため、ESLのAcademic Writingを受講しようと考えていたのですが、受講希望者が多いことと、もともと交換留学生向けではないとのことで、受講ができませんでした。代わりに何か別の、Writingのある講義を取ろうと考えたのですが、前提知識のない状態で新分野に挑むのは、他の講義に影響が出るのでは、と考え、Japanese Cultureを受講することに決めました。2週目の現在では良い選択だったと考えています。

以下にそれぞれの講義について記述します。

#### CS418 Interactive Computer Graphics

OpenGLを使ったコンピューターグラフィックスの授業です。金沢工業大学でも受けたことのある内容ですが、イリノイ大学では高度な技術を用い、難易度の高い課題が出るようです。もともと勉強したかった分野でもあるため、不安もありますが、勉強意欲が強く湧いてきます。

すでに今学期全ての課題内容が出ており、最初の課題では“3次元空間上に頂点を作成、簡易なCGを生成しアニメーションを作る。”というもので、最初の週でほとんどできてしまう程度のものでしたが、二週以降では一つの課題に一ヶ月以上をかける大掛かりなものになっています。

#### CI437 Educational Game Design

様々なゲームに見受けられる教育的な内容を考察し、自分たちで提案するという授業です。とても変わった授業のように感じましたが、教育の分野においてゲームは欠かすことのできない重要な要素であるとわかりました。一週目ではビデオゲーム、テーブルトップゲームに関わらず実際にプレイすることでその内容を考察するという事を行いました。

ストラテジーゲームにおけるリソースマネジメントや、物理演算を使ったゲームで自然と学べる物理など、少し遠い目線からゲームを見る事で気づかされる事が多くありました。現在は、今週からプレゼンテーションが始まるため、その準備を行っています。

#### CHIN202 Elementary Chinese 2

前学期に引き続き中国語の講義を受講しています。今学期からPinYinではなく漢字を主とした授業になるため、現地の学生にとってかなりの難易度向上が見受けられます。インストラクターや生徒同士の距離が近いため、授業外でも交友関係を築く事ができ、とても楽しい授業だと感じています。初歩的な内容ですが、自分のしたい事(食事やどこに行きたい等)を伝える事が出来る程度には学んでいます。

この授業を取ったおかげで、中国語圏からの友人との話題が増えたと感じます。

#### EALC250 Japanese Culture

Academic Writingの代わりに、と取った講義でしたが、内容や濃さや読み物の量も多く、身になっていると感じます。特に私は歴史が苦手だったために、再度学び直す上で、自国に対する理解の浅さを感じます。現在は歴史を主に学んでいます。日本神話から始まり、縄文や弥生時代から奈良時代に至るまで、日本での日本文化の科目と変わらないほど、しっかりと学び方をしていました。反転授業を主としたディスカッションの講義時間もあるため、その中で日本に対する海外からの理解や、自分自身の考え方について、もっと多くを学べる事を期待しています。

以上で1月分の報告とさせていただきます。